

行政事業レビュー公開プロセス 評価結果（令和3年6月18日実施）

No	事業名	とりまとめコメント
1	<p>【中距離地对空誘導弾の取得】</p> <p>評価結果：事業内容の一部改善 内訳：廃止 0票 事業全体の抜本的な改善 0票 事業内容の一部改善 6票 現状通り 0票</p>	<p>○調達段階、製造工程、ファミリー化などにおける効率化が本事業にどの程度反映されているか比較し、一層の改善に努めるべきである。とりわけ価格上昇の部分については精査が必要である。</p> <p>○コスト低減の手法として、ファミリー化などの取組みについては理解できる。類似事業にもその取組みを拡大していくべき。</p> <p>○コスト低減に関してもロジックモデルに盛り込み、目標として実施状況をモニタリングすることも必要ではないか。</p> <p>○類似事業との合理化、効率化及びファミリー化の更なる推進には、企業の構造改革、吸収合併も含めた企業の再編や調達段階においても各自衛隊の垣根を超えた調達の検討が必要ではないか。</p>
2	<p>【障害防止事業】</p> <p>評価結果：事業内容の一部改善 内訳：廃止 0票 事業全体の抜本的な改善 1票 事業内容の一部改善 4票 現状通り 1票</p>	<p>○予算額が年々増加している一方、毎年、繰越額についても一定程度発生している。自治体からの要望に対する優先順位を明確化するべき。また繰越の要因分析を実施し、制度上の検証も含めて繰越を縮減する方策を検討するべき。</p> <p>○要望の前に地方公共団体とやりとりをしているので全て採択されるということだが、このプロセスでは採択・不採択の基準が分からず、その基準を明確にするべき。</p> <p>○地域コミュニティの理解が必要な事業である。事業完了後に実施する事業効果を確認するアンケート結果を踏まえ、周知の方法やその達成度を定量的に評価し積極的に自治体にアピールするべき。</p>
3	<p>【安全保障技術研究推進制度】</p> <p>評価結果：事業内容の一部改善 内訳：廃止 0票 事業全体の抜本的な改善 0票 事業内容の一部改善 6票 現状通り 0票</p>	<p>○防衛省が研究助成しなければならない理由や具体的な助成対象の基準・選抜方法などを明確に説明していくべき。</p> <p>○事業が継続していく中で橋渡し研究等で具体的に防衛装備の高度化に繋がっているかを検証等することにより、テーマの設定、案件選定、評価等の方針の見直しを継続的に実施し、事業の有効性を高めていくべき。</p> <p>○事業目的は、防衛分野での将来の研究開発に資することとあるのだから、民生技術の発掘・育成はそのための手段であり、成果は防衛分野に資するように明確にするべき。</p>